

有明アリーナ（仮称）(26)新築工事基本設計

(3) 有明アリーナ

後利用の方向性

国際大会を含むスポーツ大会や各種イベントなどに利用できる新たなスポーツ・文化の拠点となる施設としていく。

大会後の利用方法

- **国際・国内競技大会の会場**
 - ・ 各種競技の国内外の主要大会（ワールドカップや日本選手権など）の会場として活用していく。
- **各種イベント等の会場**
 - ・ 10,000席を超える観客席を活用し、スポーツ利用に加え、コンサートなど各種イベントの会場として活用していく。
- **多様なニーズに応える館内空間**
 - ・ 適切な場所にレストラン、ショップ、託児スペースなどの併設を検討し、利便性を高めることにより、にぎわいの創出につなげていく。
 - ・ 一般の観客席に加え、多様な楽しみ方ができる観覧スペースの提供を検討していく。
- **コミュニティの場として活用**
 - ・ サブアリーナや会議室等の一般都民利用を通じて、コミュニティの活性化に貢献していく。

主要大会の開催イメージ



※2012年ロンドン大会時の写真

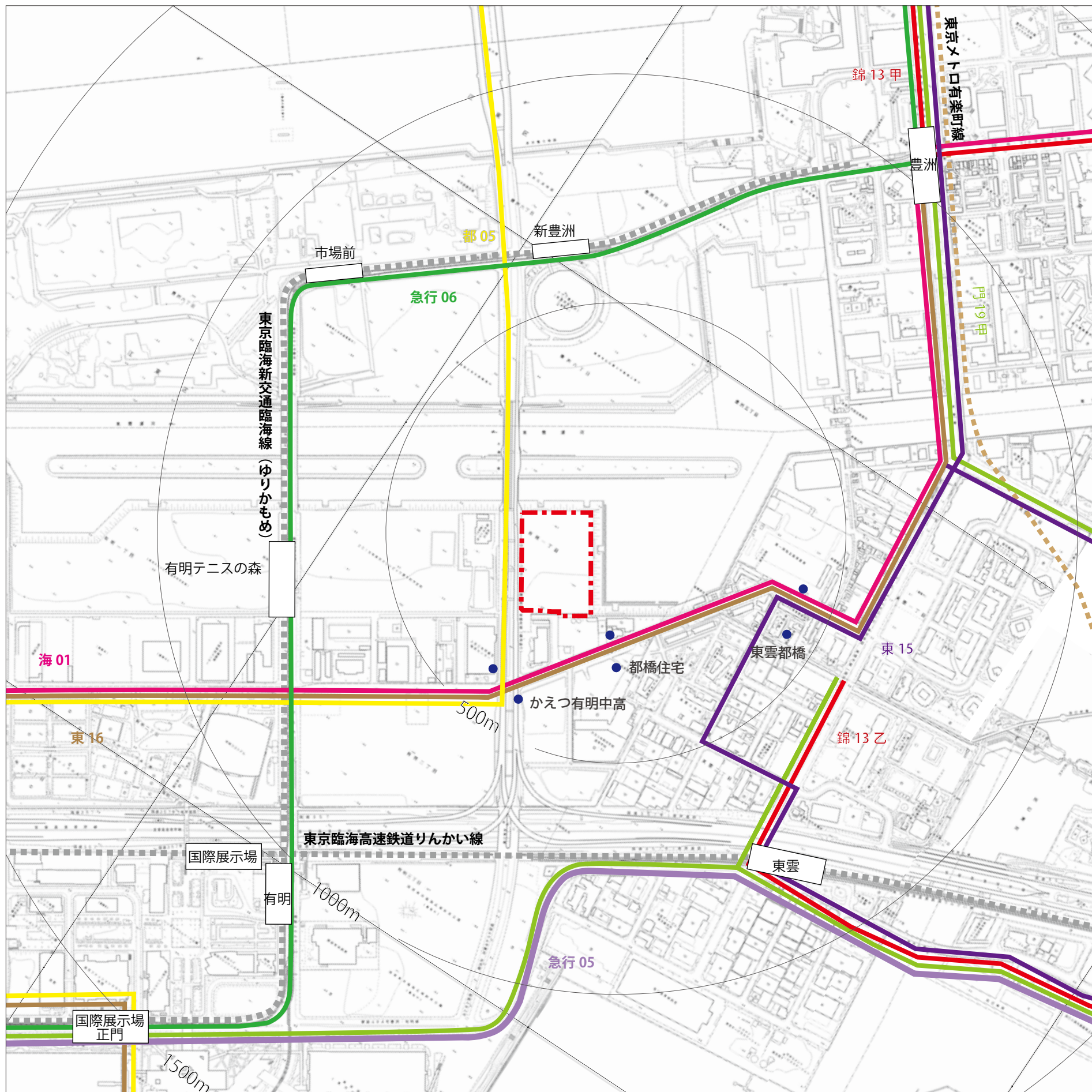
メインアリーナのイベント利用イメージ



※有明アリーナではありません

(3) 有明アリーナ

大会後の利用方法	想定する施設内容
○ 国際・国内競技大会の会場	1 メインアリーナ バレーボールコート4面又はハンドボールコート3面で競技可能な規模
	2 サブアリーナ バスケットボールコート2面が配置可能な規模
	3 競技用車いすでの動線確保
○ 各種イベント等の会場として活用	1 座席数 最大約15,000席（仮設席等含む）
	2 コンサート等の開催が可能な空間（天井高等）、構造（天井荷重等）
	3 イベント時も一般利用が可能な動線（サブアリーナの有効活用）
○ 多様なニーズに応える館内空間	1 ショップやレストラン等を利用しやすいよう配置
	2 多様な楽しみ方ができる観覧スペースの設置
○ 共通事項・その他	1 大型バスや身障者用車両を含めた駐車場の確保
	2 託児スペースの確保
	3 男女入れ替えが可能なトイレの設置
	4 車いす用観客スペースの確保



公共交通概要

最寄駅

りんかい線 ①国際展示場駅(徒歩約20分)
②東雲駅(徒歩約19分)

ゆりかもめ ①国際展示場正門駅(徒歩約26分)
②有明駅(徒歩約18分)
③有明テニスの森駅(徒歩約15分)
④市場前駅(徒歩約16分)
⑤新豊洲駅(徒歩約12分)
⑥豊洲駅(徒歩約20分)

有楽町線 ①豊洲駅(徒歩約20分)
②辰巳駅(徒歩約30分)

都バス ①急行06
②海01
③都05
④錦13
⑤東15
⑥東16
⑦門19甲乙

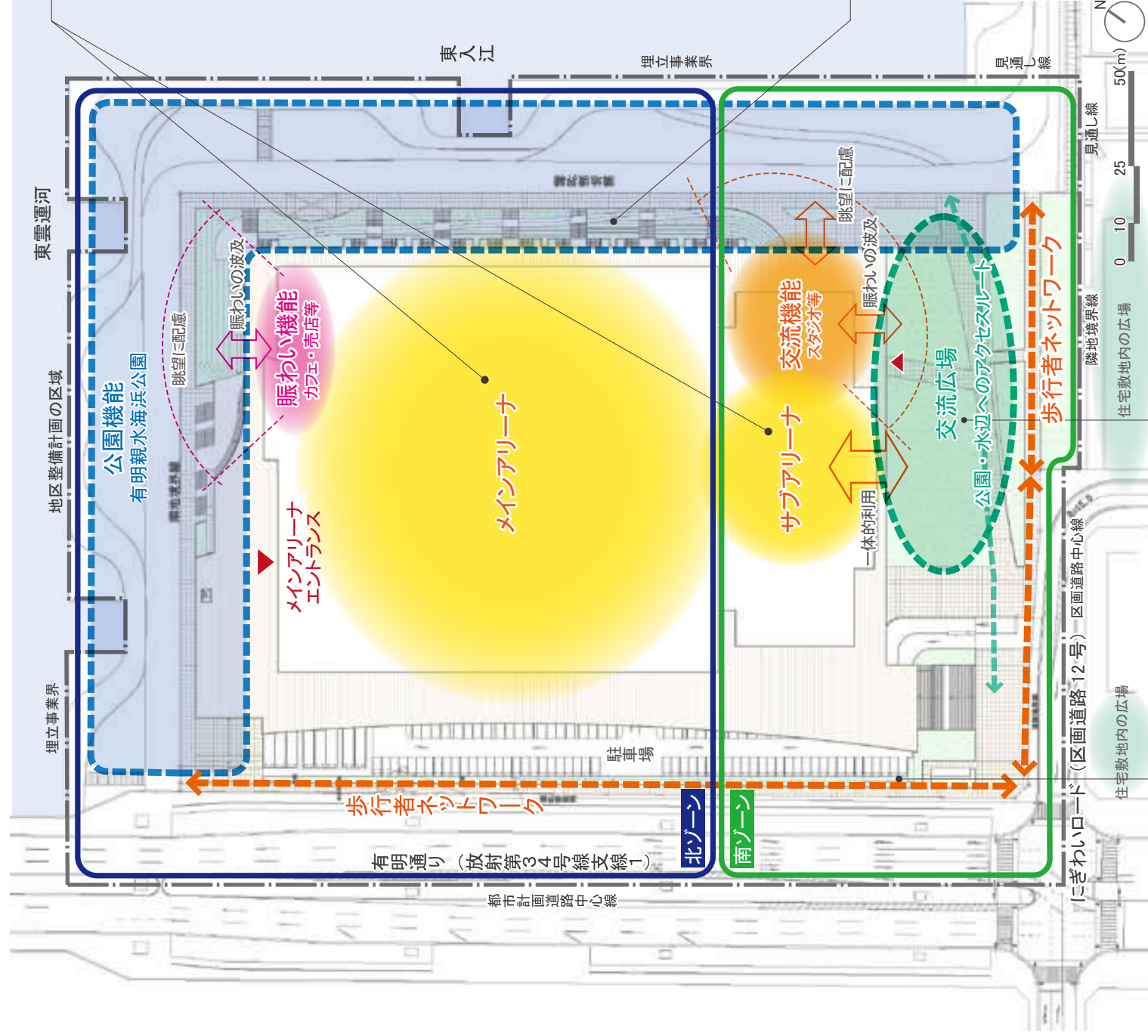
周辺のバス停

かえつ有明中高 海01、東16
都橋住宅 海01、東16
東雲都橋 海01、東15、東16

凡例

- (点線) 鉄道
- (実線) バス
- 駅
- バス停

■ 配置イメージ



①オリンピックレガシーを活かした、
東京の新たなスポーツ・文化拠点の創造

主要大会の開催イメージ ※2012年ロンドン大会時の写真



メインアリーナのイベント利用イメージ



※有明アリーナではありません

②水辺と一体となった、魅力ある
親水空間の整備

親水空間のイメージ1



③緑とオープンスペースが連続した、ゆとりある歩行者ネットワークの形成

有明通り沿いの緑化イメージ



広場のイメージ



親水空間のイメージ2

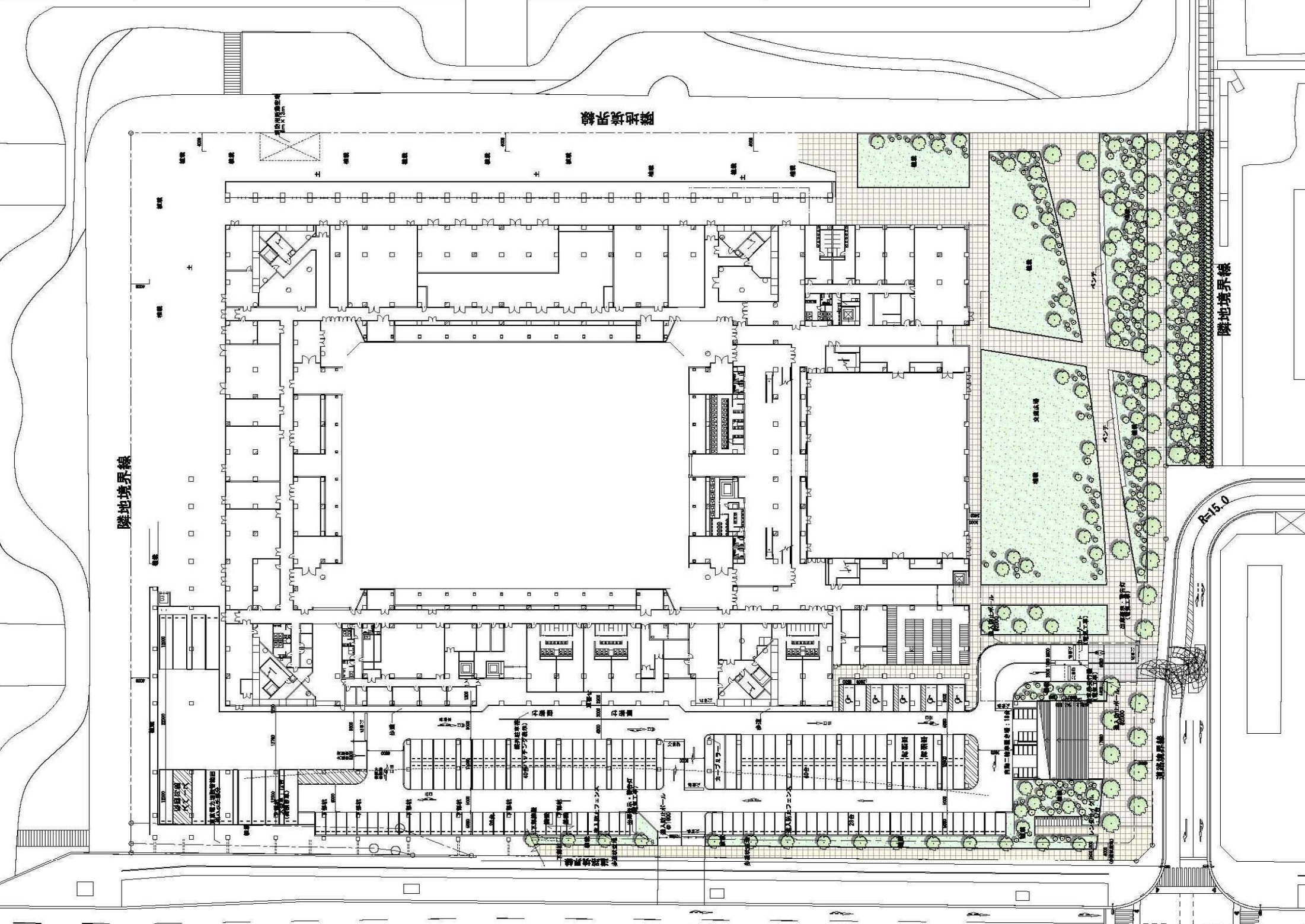


建築平面図

隣地境界線

隣地境界線

R=15.0



隣地境界線

隣地境界線

隣地境界線

車椅子専用ソーン(約110席)
VIP専用待合中

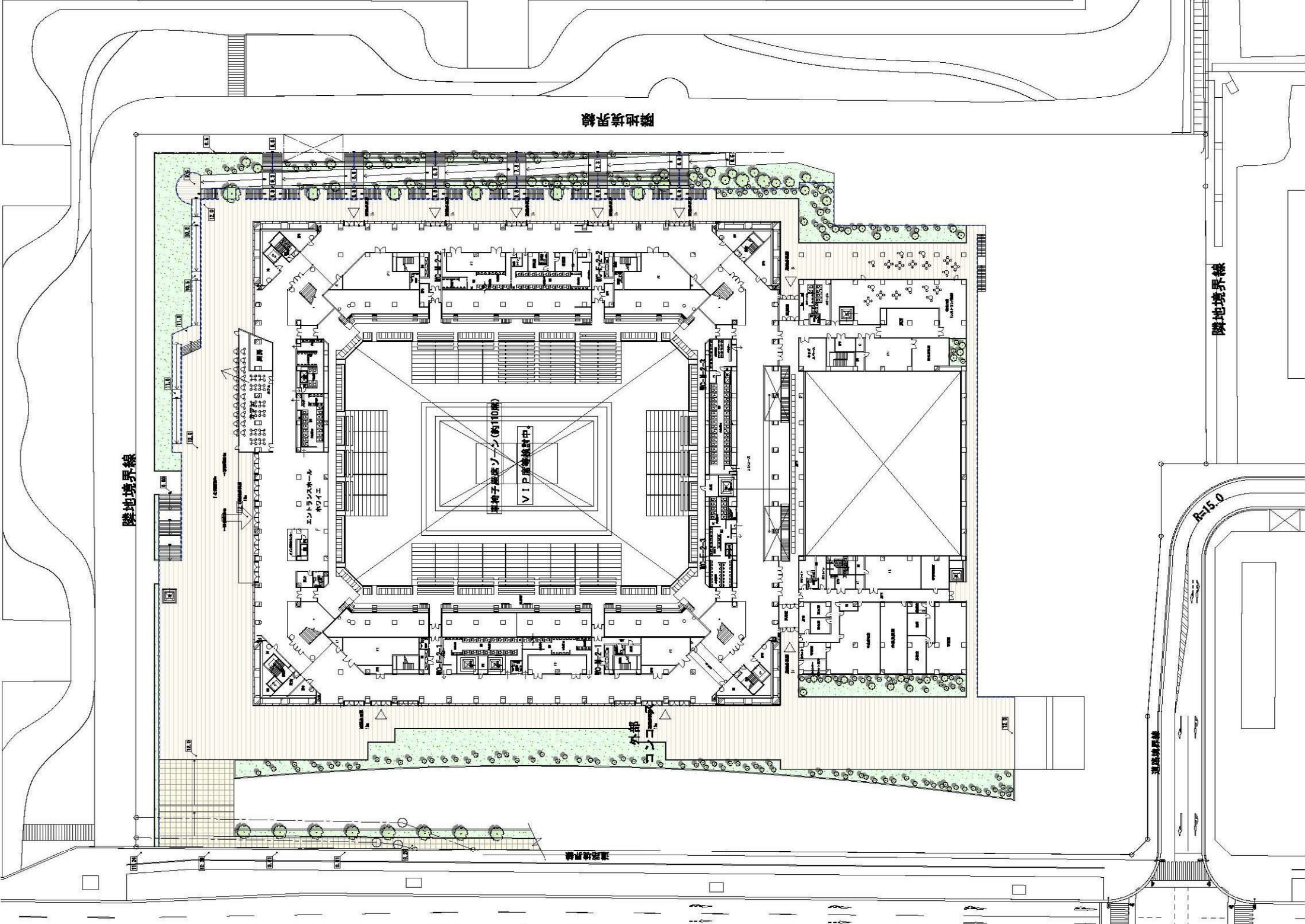
エントランスホール
和イニ

外部
コン

道路境界線

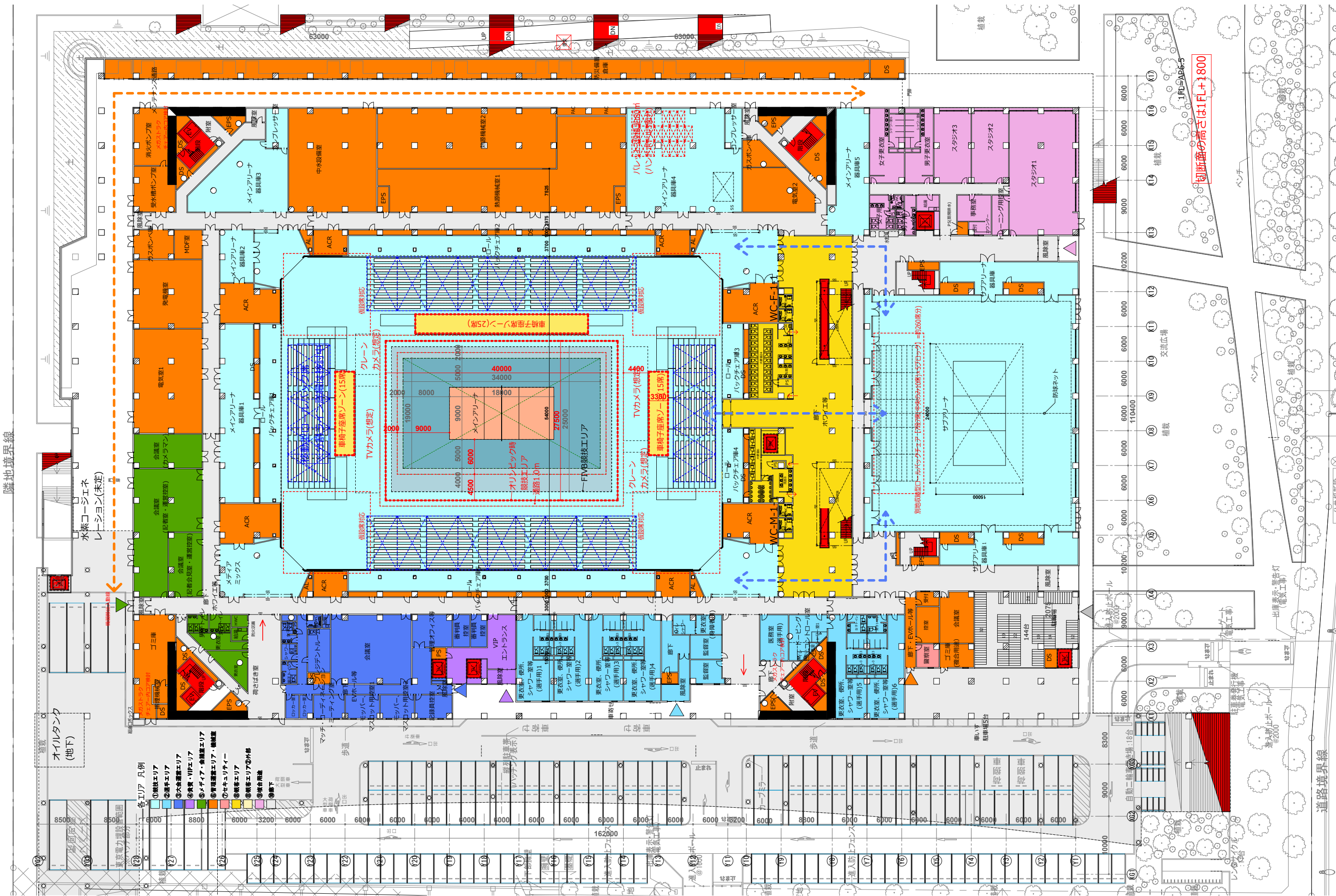
道路境界線

R=15.0



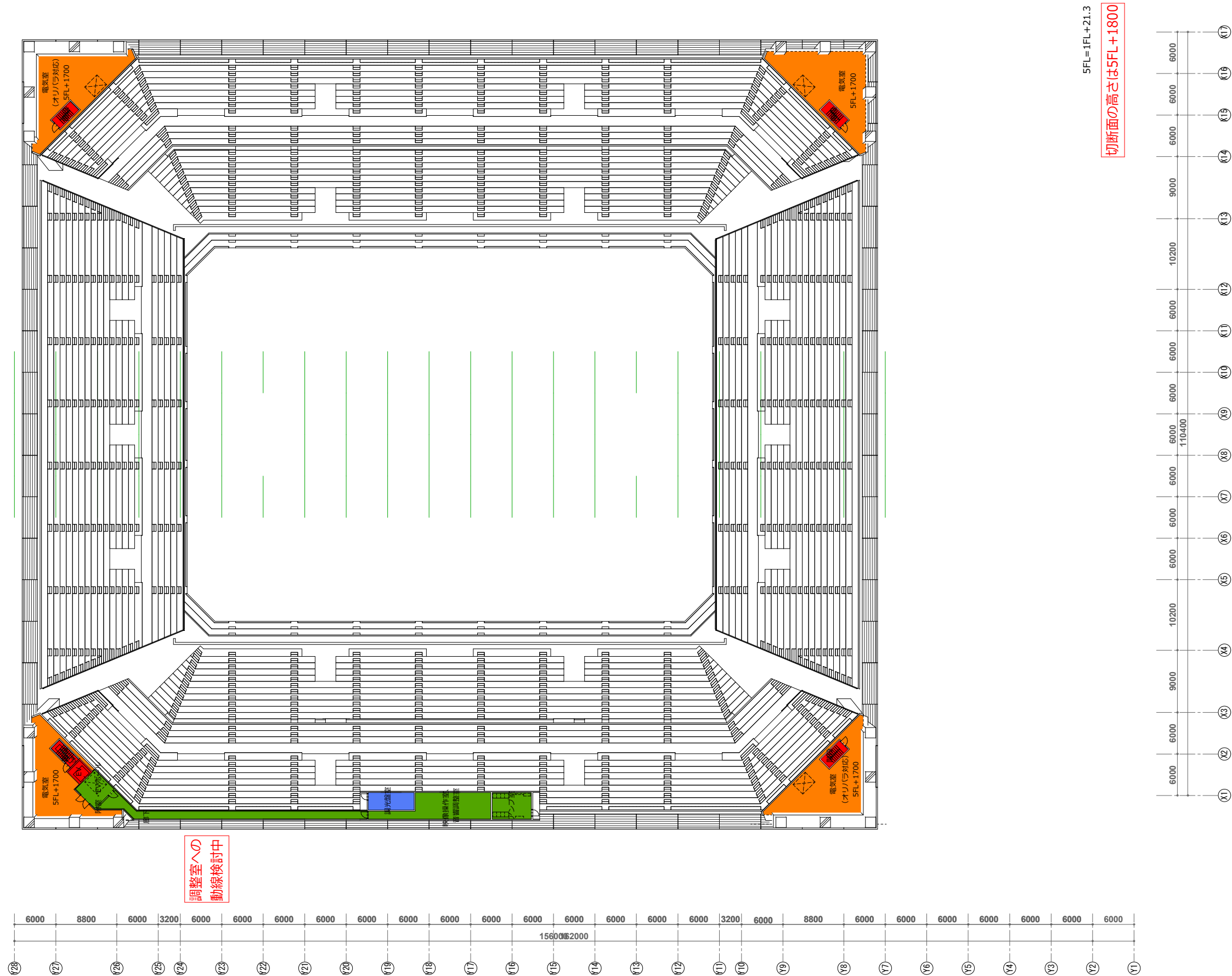
4-1. 平面図

【1階】

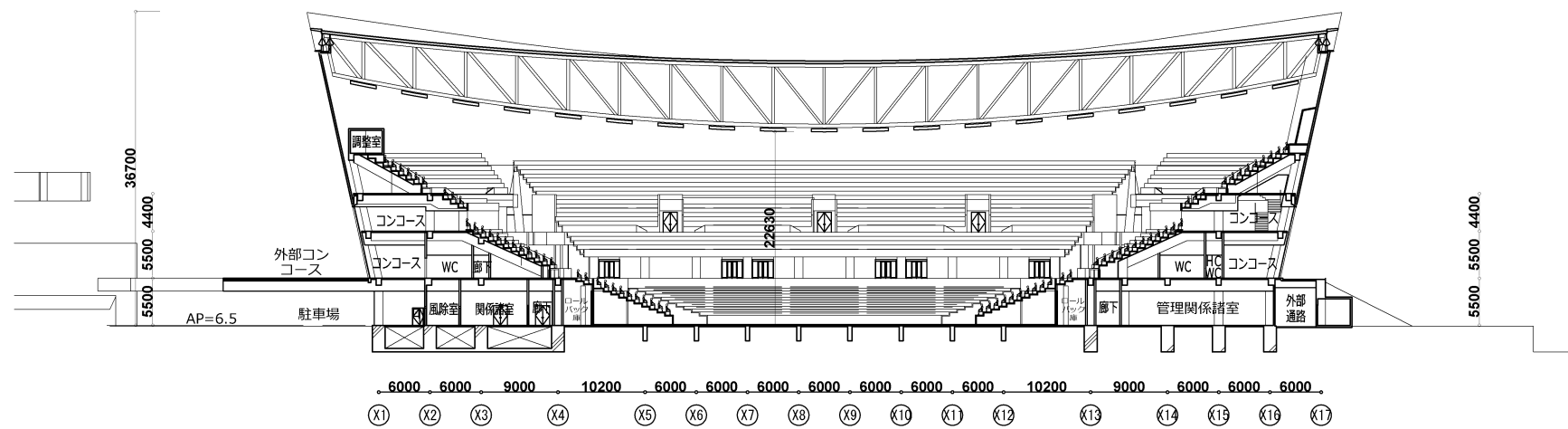


4-4. 平面図

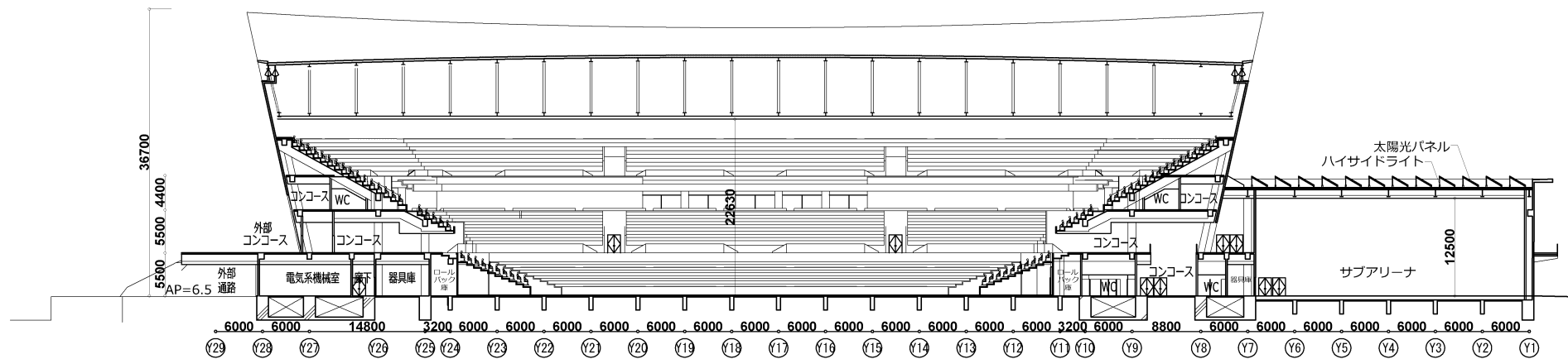
【5階】



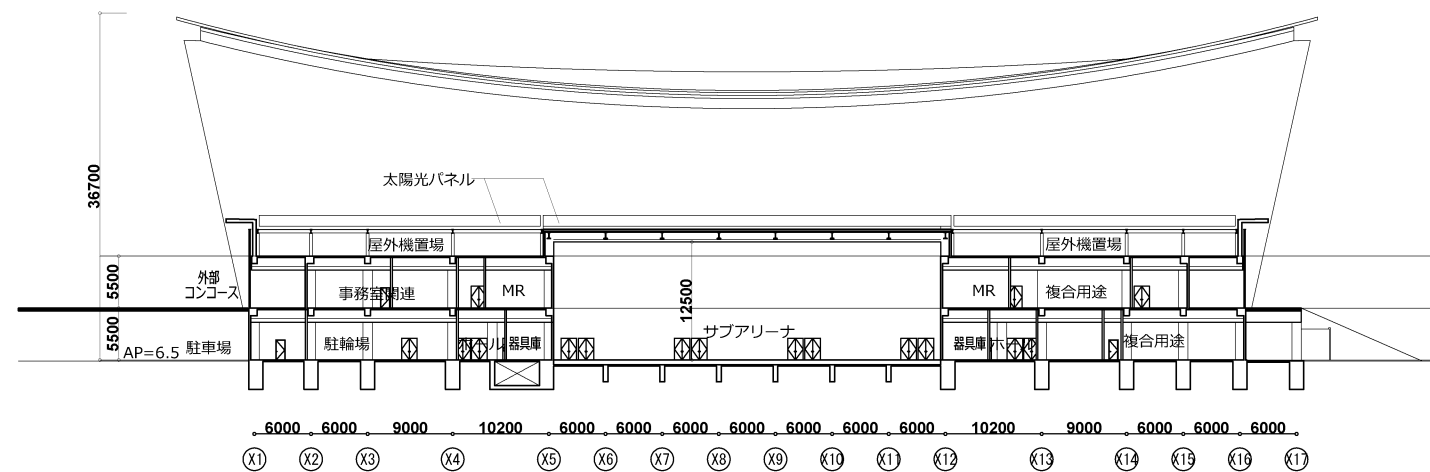
4-5. 断面図



■ 断面図 AA
1 : 400



■ 断面図 BB
1 : 400

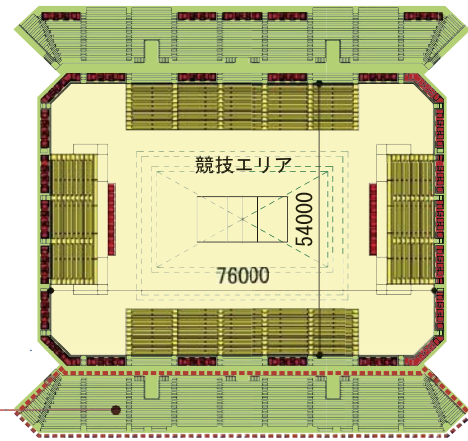


■ 断面図 CC
1 : 400

3-6. 観客席計画【スタンド検討】



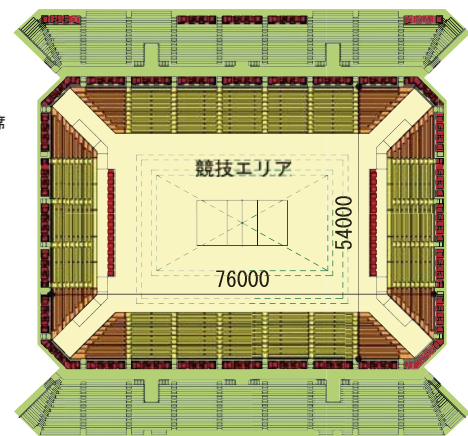
車椅子席凡例
常設・150×150 席
(総客席数の1.0%)



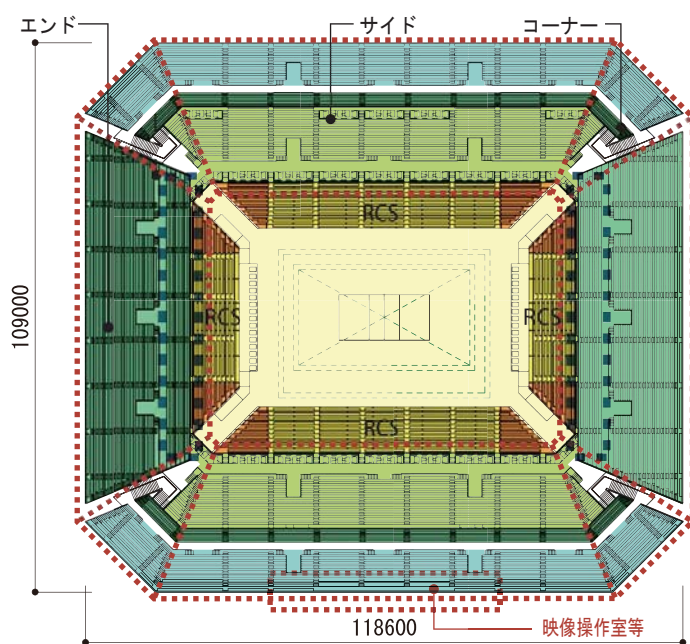
1-2 階席 (後利用時)

車椅子席凡例
オリパラ時・195×195 席
(総客席数の1.3%)

(後利用時比較)
2階固定客席192席減
車椅子席45×45席増
合計102席減

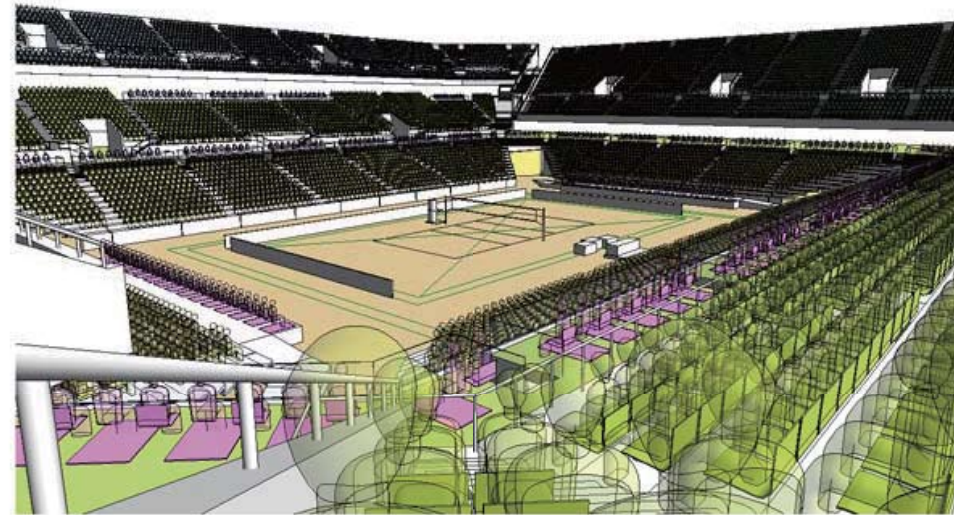


1-2 階席 (オリパラ時)

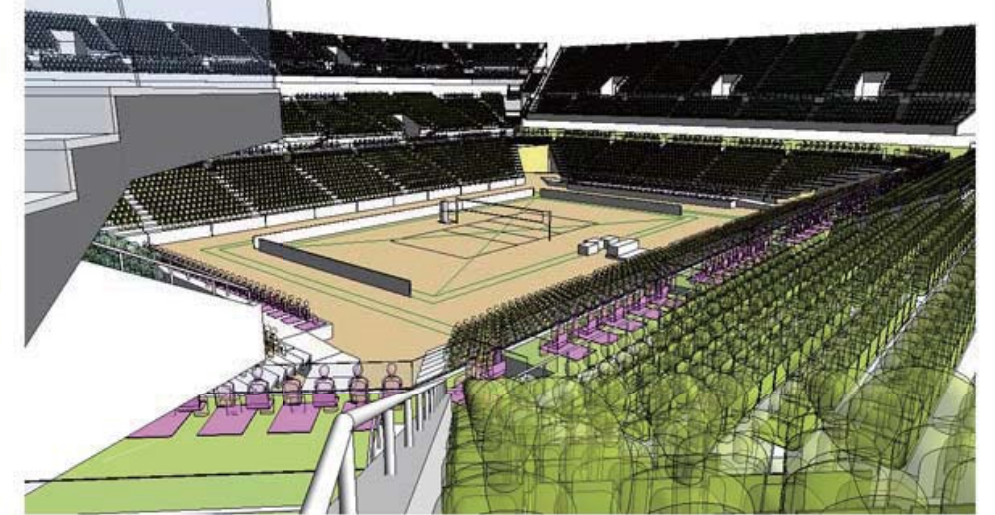


3-4 階席

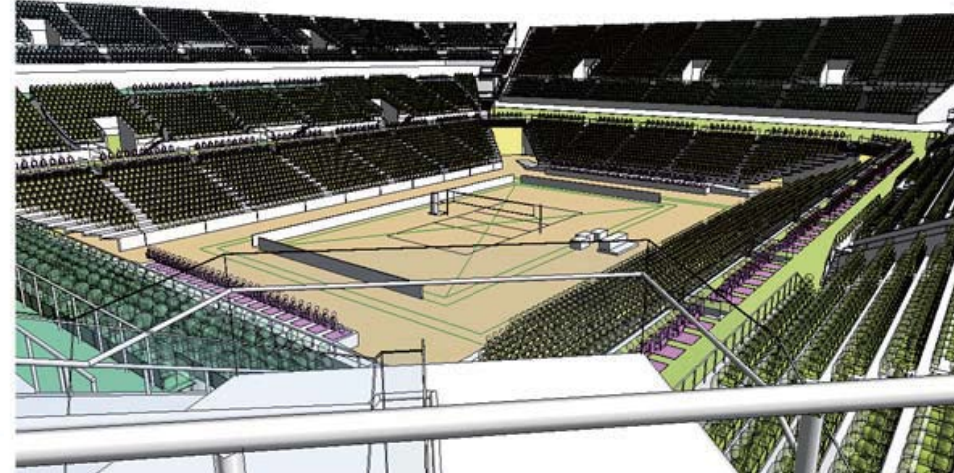
※アリーナ面積は4286.40㎡



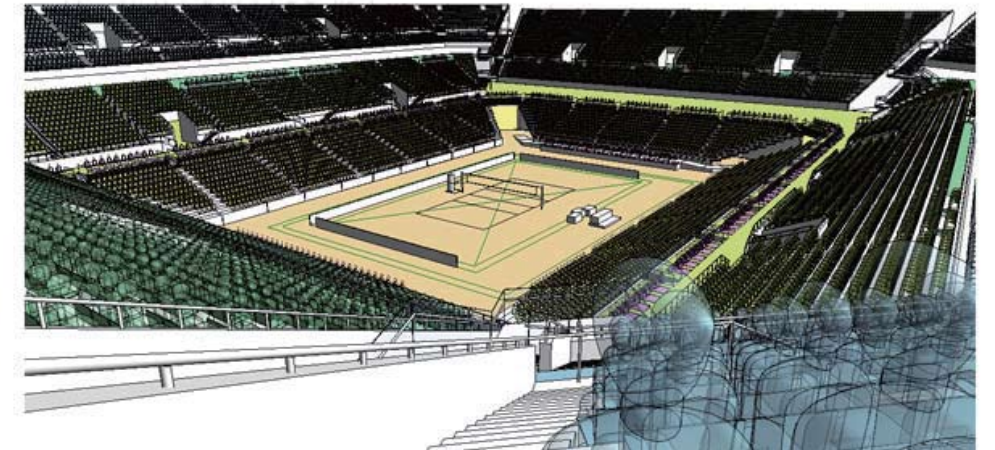
①エンド側2階中段より



②エンド側2階最上段より

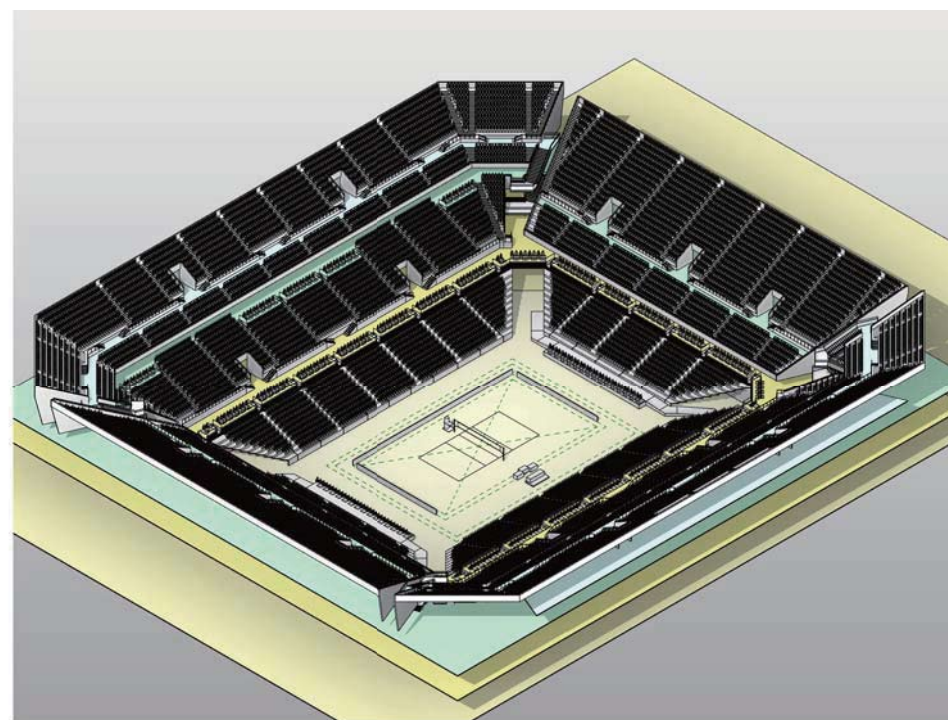


③エンド側3階最下段より



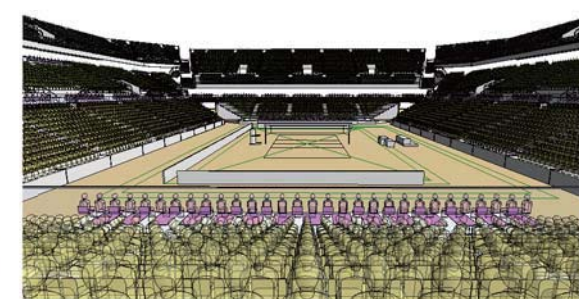
④エンド側4階最上段より

スタンドコーナー部からのサイトライン

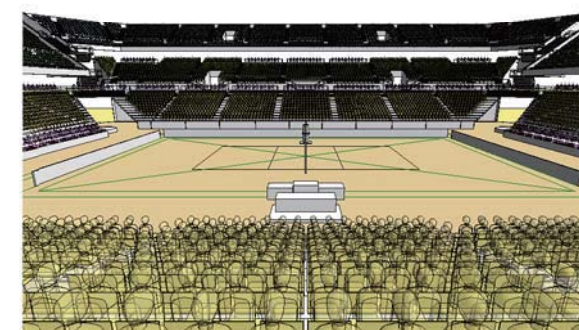


北西より望む

※ コートは バレーボールコートとし い

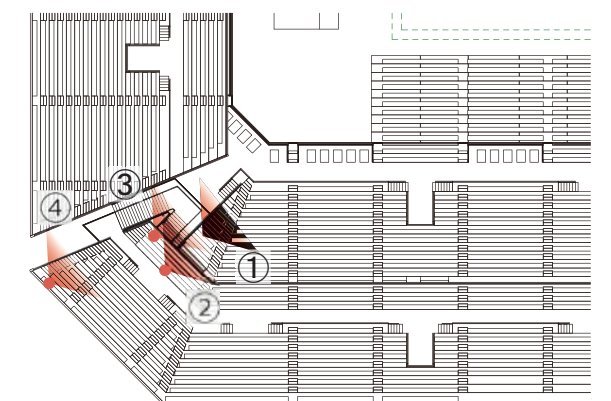


2階エンド側コンコースから望む



2階サイド側通路から望む

アリーナへの眺望



KEY PLAN

有明アリーナ（仮称）（26）新築工事基本設計概要【機械・電気編】

1 受変電設備

- (1) 高圧受変電設備の信頼性確保（異変電所からの2回線受電）
- (2) オリ・パラ時は臨時電力として、スペースを敷地内に確保
- (3) レガシー時の契約電力を削減

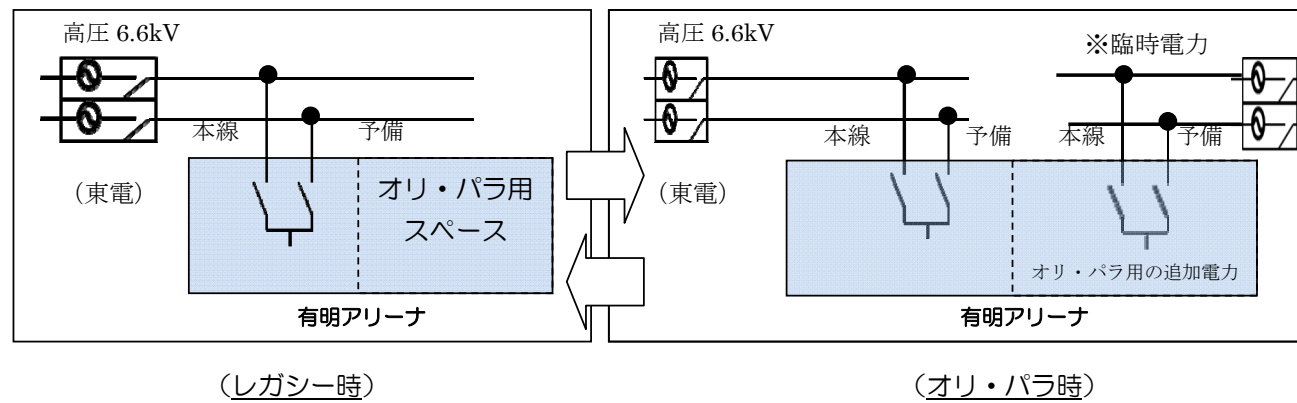


図-1 受電方式の検討

2 環境への配慮

- (1) 再生可能エネルギー、省エネルギー技術の効率的、効果的な導入
 - ① アリーナ施設の特徴に合わせ、再エネ、省エネ技術等を最適な規模にて効果的に導入
 - ② 省エネやヒートアイランド現象の緩和に有効な地中熱利用ヒートポンプを大規模に導入
 - ③ 太陽熱やコジェネレーションからの排熱を冷房にも利用できるシステムとし、年間を通して無駄なく使用
 - ④ 負荷の少ない日などは、再エネ、省エネ機器から優先的に使用する効率的な運用システム

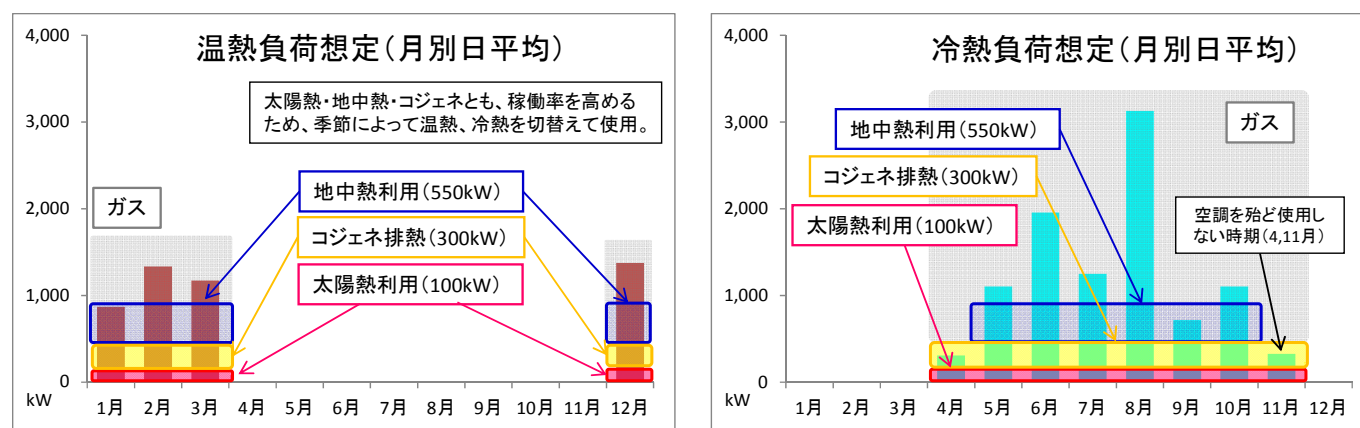


図-2 再生エネ、省エネ技術の効率的、効果的な導入

(2) 各種機器等の利用計画

- ① 地中熱利用ヒートポンプ（550kW）
- ② 太陽熱収集パネル（100kW）
- ③ 太陽光発電設備（200kW）
- ④ コジェネレーション（電力210kW、排熱300kW）

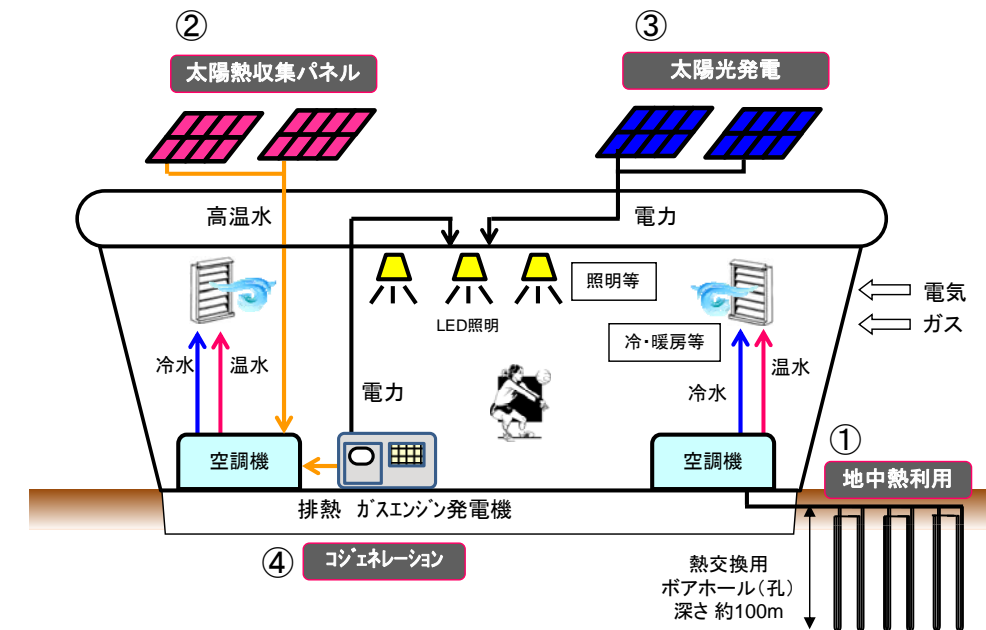


図-3 再生エネ、省エネ技術の利用

これらの再エネ等の導入により、エネルギー消費量及びCO₂排出量を約3割削減

3 空調方式

- (1) 省エネやフレキシビリティを考慮し、アリーナ面を細かくゾーンニングして空調
- (2) 省エネを考慮し、空間全体ではなく、人の居る部分のみを空調（部分空調）
- (3) 競技への影響等、アリーナの使用状況に合わせ、風量を制御出来る可変風量制御方式を採用
- (4) イベント利用時等における様々なステージ位置にも対応可能な空調システム

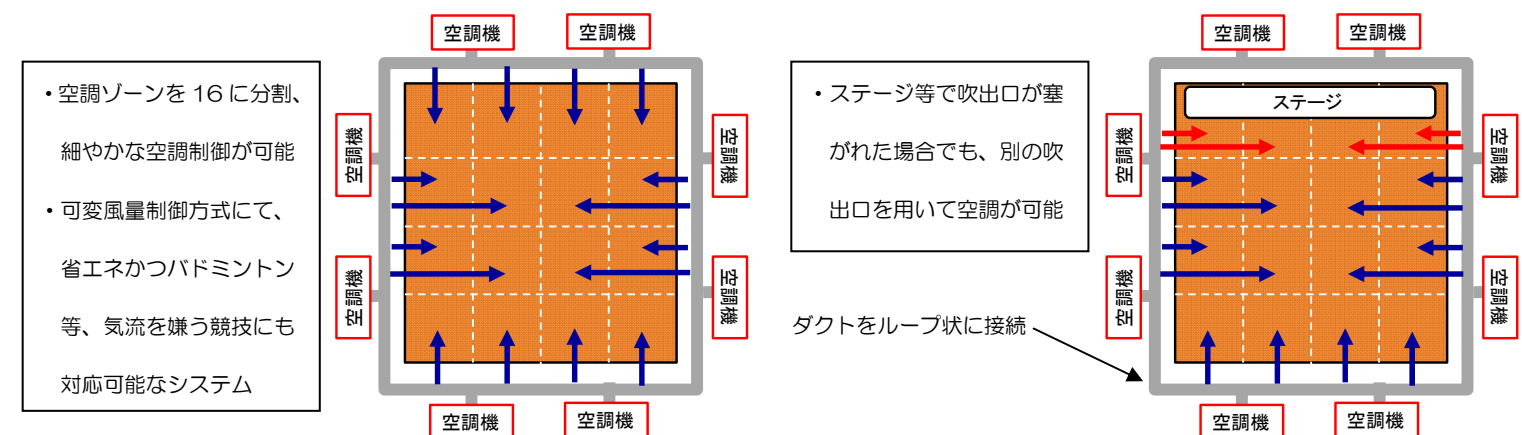


図-4 メインアリーナの空調方式

4 中水設備

トイレ汚水や雨水等を貯留、処理（中水）し、トイレ洗浄水として再利用【節水対策】





